病院実習

～鹿児島市医師会病院～

実習期間：2020年8月24日～11月6日

[redacted]大学薬学部5年

[redacted]

発表内容

①自分の実習の目的とその目的は達成されたか？

②実習した内容

③実習したことで印象に残った出来事や内容

④実習を通して感じた病院薬剤師としての業務

⑤病院薬剤師の存在意義

⑥どのような薬剤師になりたいか

実習の目的

・病院における薬剤師の役割について知る

・多職種と連携してチーム医療に取り組む

・臨床の現場を経験することで、今後の学習に役立てる

実習内容

前半

後半

週	メインの実習	月	火	水	木	金
第1週 8/24～	調剤/持参薬鑑別	オリエンテーション[redacted] 調剤/持参薬鑑別説明 (調剤室担当者)	薬剤部カンファレンス	電子カルテマスタ説明 [redacted]	ユヤママスタ説明 [redacted]	病院実習への取り組み方の助言([redacted] 面談([redacted]
第2週 8/31～	調剤鑑査	調剤鑑査説明 (調剤室担当者)	薬剤部カンファレンス	AST・ICT説明([redacted]	AST・ICT参加	医療安全説明[redacted] 面談([redacted]
第3週 9/7～	注射取り揃え	注射取り揃え説明 (注射担当者)	薬剤部カンファレンス	発注・在庫管理説明 [redacted]	AST・ICT参加 発注	医薬品採用説明([redacted] 発注
第4週 9/14～	注射鑑査/検品	注射鑑査・検品説明 (注射担当者)	薬剤部カンファレンス	化学療法レジメン説明 [redacted]	AST・ICT参加	TDM説明[redacted] 面談([redacted]
第5週 9/21～	1.抗がん剤調製 2.調剤	祝日	祝日	ミキシング説明 (混注主担当者)	ミキシング AST・ICT参加 化学療法カンファレンス 参加(時間外)	ミキシング 一口メモ説明([redacted]
第6週 9/28～	1.病棟(4F) 2.一口メモ作成 3.調剤/持参薬鑑	病棟業務説明 (4F病棟担当者)	薬剤部カンファレンス	製剤説明[redacted]	AST・ICT参加	就職活動の助言[redacted] 面談([redacted]
第7週 10/5～	1.病棟(4F) 2.一口メモ作成 3.調剤鑑査		薬剤部カンファレンス		AST・ICT参加	麻薬管理説明([redacted]
第8週 10/12～	1.病棟(6F) 2.一口メモ作成 3.注射取り揃え	病棟業務説明 (6F病棟担当者)	薬剤部カンファレンス	発注	AST・ICT参加 発注	認定薬剤師説明[redacted] 発注
第9週 10/19～	1.病棟(6F) 2.一口メモ作成 3.注射鑑査/検品		薬剤部カンファレンス		AST・ICT参加	面談[redacted]
第10週 10/26～	1.病棟(7F) 2.抗がん剤調製 3.調剤	病棟業務説明 (7F病棟担当者)	薬剤部カンファレンス		AST・ICT参加	面談[redacted]
第11週 11/2～	1.病棟(7F) 2.希望に応じて		祝日	成果発表会	AST・ICT参加	面談[redacted]

備考

実習内容（前半）

- 調剤（内服薬、注射剤、軟膏、水剤）
- 抗がん剤調製
- 調剤薬鑑査
- 持参薬鑑別
- AST/ICT、化学療法カンファレンスへの参加

～調剤（内服薬、注射剤）～

規格・剤形
服用開始日
腎機能、肝機能、用法・用量
相互作用、配合変化
コメント欄の確認

処方箋のチェック → 調剤 →

監査 → 病棟 → 患者さんへ

～ASTへの参加～

AST：抗菌薬適正使用支援チーム

90代女性Kさん

9/14 に紹介医で入院。9/16頃より発熱があり、抗生剤の投与を開始する。紹介医では血液培養からMRSAが検出されており、精査・加療目的にて当院救急外来に搬送され入院となる

9/17～9/27でTEIC(初回400mg/day、維持200mg/day)による治療を開始。9/28に当院入院後、医師の処方によりTEICはVCM(500mg/day)へと変更。この時点でのCCrは約30(ml/min)。4日目投与直前(10/1)に採血を行い、TDMを行って、トラフ値を出した。

4日目のトラフ値としては13(μg/ml)であり、また、修正して算出されたCCrの値としては18(ml/min)であった。VCMの目標トラフ値は15～20(μg/ml)であるが、TDM解析ソフトを用いると今後さらに腎機能が低下することが予想されたためVCM400(mg/day)へと変更した。しかし、その4日後のトラフ値は13.7(μg/ml)であったため再度500(mg/day)へと増量。10/25にて一旦VCMの投与は中止となった。

～カンファレンスで話し合った内容～
- TEIC→VCMの変更は適切であったか
- TEICの効果が顕著に現れなかったのは投与量が足りなかったからではないか？
- VCMの副作用、症例に対するデメリットを考えてDPTへの変更はどうか？　など

TEIC：テイコプラニン　VCM：バンコマイシン

実習内容（後半）

・病棟業務

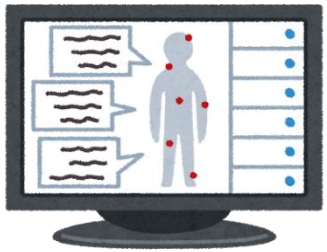
・患者さんへの服薬指導、退院指導、薬剤管理指導記録の作成
・病棟薬剤管理
・他職種との連携、情報提供
・処方提案

・意見交換会

・合同症例検討会への参加

・一口メモの作成

～病棟では～



・電子カルテのどこをみればいいのか
・疾患が多すぎてごちゃごちゃしてしまう
・シンプルに薬が多い　など

繰り返し
繰り返し

・現在服用中の薬、検査値、患者さんとの面談記録
・薬をもとに最も焦点を当てている疾患
・薬が多い時はそれぞれ患者さんにわかりやすくかつ簡潔に説明。

実習を通して感じた病院薬剤師の業務

・様々な業務があり、規則も多い
・薬のことなら薬剤師と信頼されている
・電子カルテから得られる情報を服薬指導に生かすことが出来る
・人との関わりが多いため、コミュニケーション能力が必須
・医師に直接処方提案を行ったりするので責任が重大
・勉強会や院内カンファレンスが多数あり、常に勉強

病院薬剤師の存在意義

・薬を集める際に、ただ集めるだけでなく処方内容が適切であるかを判断する。

・薬に関する疑問を患者さんだけでなく、医師、看護師から尋ねられた際に、適切な情報を渡すことができる

“薬のプロ”

・コミュニケーション能力は服薬指導、チーム医療を行うにあたり不可欠

実習の目的は
達成されたか？

達成できた

しかしまだまだ知識が定着していないし、臨床の現場で必要なスキルが足りない

どのような薬剤師になりたいか

話しかけられやすく

知識量なら負けない

頼りになる

ご清聴
ありがとうございました